

# 学生の履修選択における GPA 別の決定要因の分析\*

## コンジョイント分析による要因分解

1240443 坂田康雅

指導教員 安井佑太

### 研究背景

2020年2月頃、新型コロナウイルスの拡大により、ライブ型やオンデマンド配信などのオンライン授業が普及し、教育の面で大きな変化が訪れた。今後も、オンライン授業、オンデマンド配信が広く利用されていくと考えられる。先行研究ではオンライン授業よりも対面授業のほうが、理解度の差は少ないという結果が得られている。

### 研究目的

授業形態が学生の履修選択に与える影響を推定する。学生が好む授業実施形態を明らかにすることで、学生が履修したい授業を創ることができ、多くの学生に履修してもらう機会も増えると考えられる。これは、履修する学生、授業を行う教員のどちらにも利点となる。

### 研究方法

高知工科大学経済マネジメント学群42名に対してアンケートを行い、アンケート結果をもとにコンジョイント分析を行い、学生の履修選択に与える影響を明らかにする。授業形態、評価制度などを用いて、学生の履修選択に与える影響を分析する。

### 分析結果

「オンライン授業」、「オンデマンド配信」、「対面授業」ではオンデマンド配信が選ばれやすく、対面が一番選ばれにくいという結果が確認された。また成績が低いグループでは高いグループよりもオンデマンドが選ばれやすいという結果が得られた。

### 結論

GPAが低いグループのほうがオンデマンド授業を選択する確率が高いため、オンデマンド授業には学習意欲のない学生が集まってしまうことによって、学習意欲のある学生との学習効果の差が顕著に出してしまう可能性がある。

---

\* 本研究を進めるに当たり、多くの方にご指導ご鞭撻を賜りました。特に、指導教員である安井佑太先生からは多大なご指導を賜り感謝申し上げます。本研究に関してご協力頂いた方々に再度御礼申し上げます。誠にありがとうございました。